



こもれび

2017年7月号

No.274

《支部連絡先》

支部長 浅田良一

☎048-813-2088

Eメール rickyasada@yahoo.co.jp

【山行計画】

“山行中の事故はすべて自己責任です。安全対策は周到に！”

NO	日付	目的地	グ	係	備考
1333	06/30(金)	歴史の道ハイク⑮箱根・湯坂道	3	倉重	
1334	06/30(金) -07/01(土)	新潟・守門岳～浅草岳	4	桶川	日程変更
1335	07/08(土)-09(日)	南アルプス・甲斐駒ヶ岳	5	黒田	
1336	07/15(土)-16(日)	群馬・榛名山	3	西川	
1337	07/22(土)-23(日)	上越・秋山郷～苗場山	4	浅田	
1338	07/29(土)	栃木 日光・戦場ヶ原ハイク	2	倉重	
1339	07/27(木)-30(日)	北アルプス・表銀座コース(燕岳～槍ヶ岳)	5	桶川	日程変更 7/29-31
1340	08/11(金)	そうめん山行(沢入キャンプ場)	2	井上	
1341	08/12(土)-15(火)	北アルプス・白馬(猿倉～鱧温泉)	5	黒田	
1342	08/16(水)-19(土)	北アルプス・裏銀座	5	清水(博)	
1343	08/17(木)	奥多摩・大岳山～馬頭刈尾根	3	桶川	
1344	08/21(月)-26(土)	南アルプス聖岳～赤石岳～悪沢岳	5	益田	
1345	09/03(日)	静岡 三島・三島スカイウオーク & 中郷温水池	1	渡辺	
1346	09/07(木)-08(金)	上越・妙高山～火打山	4	浅田	
1347	09/09(土)-10(日)	群馬 赤城・地藏岳～黒檜山	3	西川	

1348	09/14(木)-15(金)	奥日光・女峰山	5	桶川	日程、行先 変更
1349	09/16(土)	群馬 玉原湿原・鹿俣山	3	浅田	
1350	09/23(土)	奥多摩・三頭山	3	床次	
1351	09/24(日)	鎌倉・大仏ハイキング	2	松岡	
1352	09/30(土)	埼玉・北本自然観察園野鳥観察	1	石田	本部合同
1353	09/30(土) - 10/1(日)	信州 佐久・八ヶ岳(編笠山～ 権現岳)	4	黒田	

グ：新ハイキングクラブ 山行グレード基準

※山行に参加される方は申込み時に備忘のため、上記の山行計画 NO に印を付けてください。例会時での申込み以外は、記載の申込み連絡先に必ず連絡してください。

《個人情報取り扱いについて》

※山行申込に当たり係が取得いたしました個人情報は、山行以外の目的には使用いたしません
が、会報での山行報告に参加された方の名前は掲載いたしますのでご了承ください。

◆追加山行は会員のどなたでも実施希望の2ヶ月前に委員会に提出し承認を受けることができますので、どしどし提案をお願いいたします。

ご 連 絡 & ご 報 告

《 7

月 運 営 委 員 会 ・ 例 会

》

- ・運営委員会 7月11日(火) 18:30～20:00 場所：常盤公民館2階会議室
- ・例会 7月25日(火) 18:30～20:00 場所：パルコ10階
浦和コミュニティセンター第14集会室

《 5 月 例 会 出 席 者 》

- ・開催日 5月23日(火) 18:30～20:00
- ・出席者 49名 出席率 52.7% (例会時会員数93名)

《 入 会 員 の ご 紹 介 》

5月の入会者は、ありません。(5月31日現在会員数93名)

《 新ハイキングクラブ 懇親会 》

日時：6月28日 18:30～20:30
場所：JR板橋駅「ハイライフプラザいたばし」2Fホール

会費：3,000円

《 新ハイ誌休刊の件 》

山行案内

◇1333 歴史の道ハイク Part⑮ 箱根・湯坂路(鎌倉古道) 一般向き

※歴史を刻む峠道。「伊勢物語」の在原業平や「十六夜日記」の阿仏尼ほか鎌倉時代以降の武将なども歩いた歴史の道。箱根の人気ハイキングコースで森林浴も楽しみましょう。

日時 6月30日(金) 雨天中止

実歩行 3時間30分(歩く距離は6.4km)

費用 5,230円(浦和=箱根湯本 2,250円×2、箱根湯本=湯坂路 730円)

集合 箱根登山鉄道・箱根湯本駅改札口 10時10分

(大宮 7:41=(上野東京ライン・熱海行)=浦和 7:49=9:29 小田原 9:45

=箱根湯本 10:10)(係・倉重は、浦和駅から2号車に乗車いたします)

コース 湯坂路入口 10:50-鷹ノ巣城跡 11:20-12:00 浅間山(昼食)12:40

-大平台分岐 13:30-湯坂山城址 14:20-箱根湯本 15:00 解散

申込 倉重裕一まで。例会時または Tel/Fax 048-822-2470、

Mail y-9ra4ge@jcom.home.ne.jp

地図 散策資料&地図は係が用意

備考 箱根湯本温泉で汗を流しますのでタオルの用意をお願いいたします。

(天然温泉：かっぱ天国 入浴料¥800)



◇1334 新潟・守門岳～浅草岳 やや健脚向き 1泊2日

※浅草岳には、可愛いひめさゆりを見に登ります。田子倉湖を見ながら下山します。

守門岳は、残雪が美しい山です。どちらも新潟を代表するような素敵な山です。

日時 6月30日(金)～7月1日(土) 宿の都合で日程変更になっています。

実歩行 1日目 7時間25分、2日目 7時間40分

費用 約18,000円(ジパング使用時)

集合 大宮駅新幹線乗り場 6時20分

コース 交通：大宮 6:34=浦佐 7:36 浦佐駅から浅草岳登山口まで、
宿の車で移動します。

1日目 (浅草岳登山) ネズモチ平-前岳-浅草岳-(1585m)-北岳

-ムジナ沢カッチ(1452m)-鬼が面山-南岳-マイクロ中継局

-六十五越登山口

2日目 (守門岳登山) 大白川登山口(630m)-小鳥帽子-守門岳(1537m)

－大岳－キビタキ小屋－保久礼小屋

申 込 桶川和子まで。例会時または 090-1507-6674 締め切りました。
備 考 浦佐からの送迎、登山口までの送迎は、大雲沢ヒュッテにお願いしてあります。
山菜の宝庫です。多分たくさんの山菜が食卓を飾ると思います。
任意保険加入者に限る。

◇1335 南アルプス・甲斐駒ヶ岳 健脚向き **1泊2日**

※北沢峠を起点に、全国数ある駒ヶ岳の最高峰(2967m)をめざします。危険箇所は、少なく、歩きやすい。甲斐駒ヶ岳の山頂は、広く、展望もよく、駒ヶ岳神社に三角点あり。

日 時 7月8日(土)～9日(日)

実歩行 1日目 40分、2日目 6時間30分

費 用 約20,000円(浦和起点、甲府までの電車賃、バス代、1泊夕食代含む)

集 合 甲府駅 広河原行バス停前 7月8日(土) 11時40分

コース 1日目 甲府 12:00－(山梨交通バス) 広河原 14:00

－(南アルプスバス) 北沢峠 15:00－長衛小屋 15:10－仙水小屋 15:40(泊)

2日目 仙水小屋 5:00－仙水峠 5:40－駒津峰 7:30－甲斐駒ヶ岳 9:00/30

－駒津峰 10:30－双児山 11:20－北沢峠 12:40 広河原 13:20 甲府 16:00(解散)

申 込 黒田拓司まで、例会時または Tel 090-7838-0823

地 図 簡単なものを係が用意します。

備 考 2日目の朝食は、甲斐駒ヶ岳山頂で食べる予定です。小屋でも、朝食用として、ちまき3個700円、パン一個200円で買えますが、準備としては、1日目の昼食、2日目の朝、昼食分は、ご持参ください。

任意保険加入者に限る。

◇1336 群馬・榛名山 一般向き強 **1泊2日**

※湖畔のホテルに泊まって200名山に登ります。山小屋の混雑を避け、ゆったり、のんびり過ごしましょう。

日 時 7月15日(土)～16日(日)

実歩行 1日目 2時間、2日目 4時間

費 用 約10,000円(浦和起点渋川往復ジパング利用、宿泊費60才未満は650円増)

集 合 浦和駅上野東京ライン高崎線ホーム 前2両目 7時40分

コース 1日目 浦和 7:43－高崎 9:17/30 東口<送迎バス>榛名湖バス停 10:40

－昼食・ビジターセンター 11:00/50－登山口 12:00

－榛名富士 13:00/20－レークサイドゆうすげ 14:00<自由行動>

2日目 ホテル 8:00－登山口(旧吾妻荘) 8:30－硯岩 9:00－掃部岳 9:50

－西峰－耳岩－杖の神峠 11:00－杖の神林道

－湖畔の宿記念公園 12:00/30－昼食 12:45/13:15

－バス停 13:20<送迎バス> 高崎 14:30/52－浦和 16:20

申 込 西川雄二まで。例会または Mail yujiland28@yahoo.co.jp

地 図 簡単なものを係が用意します。(昭文社)赤城・皇海・筑波

備 考 宿泊：榛名湖温泉レークサイドゆうすげ 027-374-9131

60才以上 7,260円、60才未満 7,910円

昼食 2日とも湖畔の食堂でとる予定です。行動食をご用意ください。
ホテル予約の関係上、6月例会で締切ります。任意保険加入者に限る。

◇1337 上越・秋山郷～苗場山 やや健脚向き **バス・1泊2日**

※清津峡をトレッキング、そして秋山郷に泊り、翌日小赤沢から苗場山に登り、和田小屋に下りるコースです。

日時 7月22日(土)～23日(日)

実歩行 1日目 約4時間、2日目 約7時間

費用 約20,000円(参加人員による)

集合 JR川越駅 7:00集合

コース 1日目 川越駅7:00＝川越 IC7:15/8:50＝八木沢駐車場9:15
－栄太郎登り口 10:45/10:55 栄太郎峠 12:35/13:00(昼食)
－山頂 13:45 ロープウェイ(800円)＝麓 14:15＝津南 15:05
＝小赤沢 16:00 泊り
2日目 宿6:30 スタート＝三合目 7:00－坪場 9:40－苗場神社 10:05/10
－苗場 10:40/11:10(昼食)－神楽ヶ峰 12:20－上ノ芝 12:40
－下ノ芝 13:25－和田小屋 14:15－駐車場 14:35/45＝湯沢 IC15:15
＝川越 IC17:15＝川越駅 17:30(渋滞状況により変化)

申込 浅田良一まで。例会または Tel 048-813-2088

地図 簡単なものを係が用意します。

備考 バスのため、15名未満の場合中止します。
任意保険加入者に限る。

◇1338 栃木 日光・戦場ヶ原ハイク 一般向き

※暑さを遁れ、奥日光の雄大な男体山を眺めながら、戦場ヶ原ハイキングに出かけます。

日時 7月29日(土)

実歩行 3時間30分

費用 6,000円(大宮起点交通費、JR大宮＝東武日光
＝湯元温泉)

集合 JR大宮駅 宇都宮行 6:12発 前から2両目

コース JR大宮 6:12＝6:41 栗橋 7:05＝東武日光 8:16
東武日光 8:40＝(東武バス)＝湯元温泉 10:05

湯元温泉 10:20－湯滝 11:00－12:00 小田代橋 12:40
－展望台 13:30－赤沼分岐 13:50－石楠花橋 14:00－竜頭の滝 14:30
竜頭の滝 15:11＝(東武バス)＝東武日光 16:10

東武日光 16:28＝18:08 栗橋 18:19＝JR大宮 18:48

申込 倉重裕一まで。例会時、または Tel 048-822-247、
Mail y-9ra4ge@jcom.home.ne.jp

地図 係が用意します。

◇1339 北アルプス・表銀座コース(中房温泉～燕岳～槍ヶ岳～上高地)健脚向き



3泊4日

※表銀座を歩きましょう。合戦小屋で、スイカを食べるのも楽しみです。ロングコースですが、達成感で溢れます。鎖場、梯子があります。注意しながら、余裕を持って歩きます。

日時 7月27日～7月30日（木～日）
実歩行 7/27 5時間10分、7/28 8時間20分、7/29 5時間、7/30 3時間
費用 47,000円
集合 大宮駅新幹線北口改札 6時30分
交通 行き 7/27 大宮 6:42＝長野 7:38/51（篠井線）＝明科 8:48
＝タクシーで中房温泉 10:00
帰り 7/30 上高地－新島々－松本－高尾－浦和
時間は現地で臨機応変にて
コース 7/27 中房温泉－燕山荘－燕岳－燕山荘（泊）
7/28 燕山荘－大天井ヒュッテ－西岳山荘－水俣乗越－大槍ヒュッテ（泊）
7/29 大槍ヒュッテ－槍ヶ岳－槍沢ロッジ－横尾山荘（泊）
7/30 横尾山荘－上高地
申込 桶川和子まで。例会時
締め切り6月例会（参加予定者は、かがやき501号を直ちに予約してください。）
地図 各自で準備願います。
備考 ・かがやきは全車指定です。もしも指定席が取れない場合は、
7/26に長野でビジネスホテルを予約します。
・任意保険加入者に限る。

◇1340 沢入キャンプ場(わたらせ溪谷)ソーメン山行 一般向き バス(定員25名)

※11℃の寒い銅山見物の後に溪谷のキャンプ場でBBQと流しソーメンを楽しみます。

日時 8月11日（金、山の日祝日） 小雨決行
実歩行 1時間、コース①銅山観光または②松木溪谷散策
費用 約4,000円（銅山観光入場料720円は含まず）
集合 高崎線上尾駅東口 7:20
コース 上尾駅東口 7:30＝上武道17号＝県道69号＝122号＝足尾銅山観光
＝松木溪谷＝沢入キャンプ場 12:00/15:00＝上尾駅 18:00
申込 井上武久まで。例会時またはメール takeiko@zb4.so-net.ne.jp、
TEL048-773-4038
地図 当日配布

◇1341 北アルプス・白馬(猿倉～鑓温泉) 健脚向き 3泊4日

※お盆の時期なので、大雪溪その他の尾根道も込み合うことも考えられるので、余裕をもって4日間山行にしました。

日時 8月12日（土）～15日（火）
実歩行 1日目 1時間15分、2日目 5時間20分、3日目 5時間10分、4日目 4時間
費用 約48,000円（小屋宿泊2食付3日間約28,900円、交通費約19,000円）
集合 8月12日（土）新宿駅発 7:50 スーパーあずさ5号出発ホーム、松本寄り一番前
コース 1日目 新宿 8:00（スーパーあずさ5号）＝松本 10:38/11:19

＝白馬 13:05/13:15 (アルピコバス)＝猿倉 13:45－白馬尻小屋 15:00
白馬尻小屋泊

2日目 白馬尻小屋 7:00－(大雪溪)－葱平 11:00－白馬岳頂上宿舎 13:30
－白馬山荘 14:00－白馬岳 14:15/14:40－白馬山荘 14:50 白馬山荘泊

3日目 白馬山荘 7:00－白馬岳頂上宿舎－丸山－杓子岳 9:30－鑓ヶ岳 11:00
－白馬鑓温泉小屋 15:00 白馬鑓温泉泊

4日目 白馬鑓温泉 6:30＝猿倉 9:40/10:15 (アルピコバス)
＝白馬駅 11:00/12:26＝松本 14:20/14:49 (スーパーあずさ22号)
＝新宿 17:26/17:35＝赤羽 17:50/17:54 (高崎線)＝浦和 18:03

申 込 黒田拓司まで。例会時または、Tel 090-7838-0823

Mail taku1944@topaz.ocn.ne.jp 締め切りは、7月例会時まで。

備 考

- ・参加は、山岳保険加入者に限ります。
- ・白馬山荘のみ、新ハイ会員証提示の場合のみ500円の割引があります。
- ・お盆の期間中ですので、決まり次第、特急指定券を確保することをお勧めします。
- ・昼夜の寒暖差が大きいので、熱さ対策、寒さ対策をしてください。
- ・四日分の昼食、行動食もお忘れなく。
- ・水分補給用のサーモスも必携、ヘッドライトと替え電池、レイン対策も。
- ・大雪溪用に軽アイゼンは、必携です。

◇1342 北アルプス・裏銀座縦走(高瀬ダム～新穂高温泉) 健脚向き 3泊4日

日 時 8月16日(水)～19日(土)

実歩行 1日目 6時間10分、2日目 7時間10分、3日目 7時間30分、
4日目：3時間30分

費 用 約50,000円

集 合 JR信濃大町駅、9時30分

(新幹線大宮発6:42＝長野着7:38、バス長野発8:1＝信濃大町着9:25)

コース 1日目 信濃大町(タクシー)＝高瀬ダム－ブナ立尾根－烏帽子小屋(泊)

2日目 烏帽子小屋－三ツ岳－野口五郎小屋－野口五郎岳－真砂岳
－水晶小屋－水晶岳往復－水晶小屋(泊)

3日目 水晶小屋－ワリモ岳－鷲羽岳－三俣山荘－三俣蓮華岳－丸山
－双六岳－双六小屋－弓折岳－鏡平山荘(泊)

4日目 鏡平山荘－小池新道－わさび平小屋－中崎山荘(入浴)－新穂高温泉
＝松本＝長野＝大宮

(バス新穂高発11:30～松本着13:35、特急松本発14:04～長野着14:56、
新幹線長野発15:20～大宮着16:26)

申 込 清水 博まで。例会時または Tel 090-3689-0041 (7月の例会時に締め切り)

地 図 各自で用意してください。

備 考

- ・4日間とも雨天等でコンディションが悪い場合は中止します。
- ・山小屋は1泊2食付ですので、3日分の行動食を用意してください。
- ・4日間のロングトレイルとなりますので、体力・装備等入念な準備を

お願いします。

- ・任意保険に加入者に限る。

◇1343 奥多摩・大岳山～馬頭刈尾根 一般向き強

※ 昨年のリベンジです。レンゲショウマを見て大岳山に登り、滝の冷気を感じて下山します。夏でも涼しさが感じられます。

日 時 8月17日(木)

実歩行 4時間10分

費用 約4,000円(大宮起点)

集合 御岳駅 8時30分、8時40分発のバスに乗ります。

(参加者には計画書にて大宮からのお勧め時間をお知らせします。)

コース ケーブル降車後レンゲショウマを観察します。(15分位)

ケーブル駅ービジターセンターー御岳神社ー鍋割分岐ー大岳山頂(昼食)

ー大岳山小屋(廃墟)ー富士見台ーつづら岩ー綾滝ー天狗滝ー千足バス停

千足バス停発 15:53 または弘沢の滝 15:27

申込 桶川和子まで。例会時または Tel 090-1507-6672

地図 地図は係が用意いたします

備考 締め切り8月14日

◇1344 南アルプス・悪沢岳(3141m)赤石岳(3120.1m)聖岳(3013m) 健脚向き 5泊6日

※ 南アルプスの最深部を歩きます。富士山を眺め、ライチョウに何回合えるか? 楽しみなコース。

日 時 8月21日(月)～26日(土)

実歩行 1日目 電車・バス移動のみ、2日目 6時間45分、3日目 5時間15分、
4日目 5時間35分、5日目 7時間40分、6日目 5時間20分

費用 約52,000円(山小屋5泊、JRはジパング使用)

集合 東京駅新幹線19番線ホーム7:50(8:03発ひかり463号自由席乗車)

コース 1日目 新静岡(静鉄バス)＝畑薙第一ダム(東海フォレストバス)
＝榎島ロッヂ(泊)

2日目 榎島ロッヂー滝見橋ー見晴台ー千枚小屋(泊)

3日目 千枚小屋ー千枚岳ー東岳ー前岳ー荒川小屋(泊)

4日目 荒川小屋ー大聖平ー赤石岳ー百閒平ー百閒洞山の家(泊)

5日目 百閒洞山の家ー中盛丸山ー兎岳ー前聖岳ー小聖岳ー聖平小屋(泊)

6日目 聖平小屋ー聖沢吊橋ー聖沢登山口ー榎島

＝バス・新幹線で東京駅(解散)

申込 益田光男まで。例会時または Tel 048-875-2161(080-6738-1941)まで

地図 地図は係が用意いたしますが、参加者は前もってコースを確認願います。

- 備考
- ・榎島ロッヂには15:30に到着いたします。
 - ・榎島ロッヂは風呂有(宿泊者のみ入浴可)、シャワー誰でもOK(500円)
 - ・任意保険加入者に限る。

◇1346 上越・妙高山～火打山 やや健脚向き 1泊2日

※夏の終わり、草紅葉が始まる火打山～妙高山をゆっくり歩きます。時間があるのでスケッチ、カメラワークも出来ますよ。

日時 9月7日(木)～8日(金)
実歩行 1日目 約6時間、2日目 約7時間
費用 大宮起点 約23,000円(ジバング使用 18,800円)
集合 大宮駅新幹線乗場北口改札口 6:25
コース 1日目 大宮6:42(かがやき501)=長野7:38/8:13=妙高高原8:56/9:35(バス)
=笹ヶ峰10:25/35-黒沢11:20-十二曲がり11:40(昼食)
-富士見平13:00-高谷池ヒュッテ13:40(受付・荷持預け)/14:00
-天狗の庭14:10-火打山15:30/45-高谷池ヒュッテ16:45(宿泊)
2日目 高谷池ヒュッテ6:10-黒沢池ヒュッテ7:00-分岐8:00
-妙高山北峰9:20-南峰9:40-天狗平10:50-滝見場所12:00
-燕温泉13:00(温泉入浴)/14:30(バス)=関山駅15:02/17
=妙高高原15:26/51=長野16:39/17:09(あさま626)=大宮18:26
申込 浅田良一まで。例会時またはTEL048-813-2088
地図 係が用意します。
備考 山小屋/高谷池ヒュッテ一泊二食 7,200円 TEL0255-86-6000
5名予約しています。7月例会で締め切ります。
任意保険加入者に限る。

◇1347 群馬・赤城 地蔵岳・黒檜山 一般向 1泊2日

※湖畔の宿に泊まって2座に登るシリーズの第2弾。広い山頂部の地蔵岳、赤城最高峰の黒檜山、三つのカルデラ湖をのんびり楽しみましょう。

日時 9月9日(土)～10日(日)
実歩行 1日目 3時間30分、2日目 4時間
費用 14,240円(浦和起点、伊勢崎往復ジバング利用2,700円、バス2,900円、宿泊費8,640円)
集合 浦和駅4番線ホーム6:30 前から2両目
コース 1日目 浦和6:34=高崎8:01/05=前橋8:20-バスターミナル8:45
=(バス)=展望台下9:32/45-地蔵岳11:00-八丁峠11:30
-小沼12:00-覚満淵13:00-ビジターセンター13:30
-青木別館14:30
2日目 青木別館8:00-登山口8:30-黒檜山10:20-駒ヶ岳11:00
-ビジターセンター12:00/13:45=(バス)=前橋14:40/15:05
=高崎15:20/36=浦和17:12
申込 西川雄二まで。例会または090-3133-8680、Mail yujiland28@yahoo.co.jp
地図 簡単なものを係が用意します。(昭文社)赤城・皇海・筑波
備考 宿泊:青木別館072-287-8511
宿予約の関係上、8月例会で締め切ります。任意保険加入者に限る。

山行報告

- ◇1332 岩手・姫神山～七時雨山 係:浅田良一
期 日 5月18日(木)～20(土) 快晴
参加者 ◎浅田良一、品野 千草子、和田厚子、松田昭子 計4名
費用 約43,000円(大宮起点、ジパング利用)
コース 1日目 大宮 6:58(はやぶさ1号)＝盛岡 8:45/9:15(レンタカー手続き)
＝七時雨山荘 10:45/11:30(昼食)－七時雨山北峰 13:25－南峰 13:45
－北峰 14:30－七時雨山荘 16:15(泊)
2日目 七時雨山荘 8:00＝葛巻町道の駅 9:20＝安家森登山口 10:15
－安家森 10:55－遠別岳 12:55/13:30(昼食)－登山口 14:50
＝平庭高原 15:55＝くずまき高原牧場 16:50(泊)
3日目 くずまき高原牧場 8:00＝姫神山一本杉登山口 9:15
－姫神山 11:15/45(昼食)－登山口 13:00
＝盛岡 14:40(レンタカー返却) 15:50(はやぶさ24号)＝大宮 17:38

1日目 水を張った水田に残雪の岩手山が移る光景が現れ、列車は盛岡に近づく。左手にその大きな山客を見ながら降り、レンタカーで北に向かう。目的の山荘は広々とした牧草地の奥にひっそりと佇む。「うわあーっ」と思わず叫びたくなるような大地の広がり。緑の草原が緩やかにうねって、森から山が、空がどこまでも続く。入口の大きな山桜がまだ花をいっぱいつけている。左手に双耳峰の七時雨山が見えている。南峰の斜面に残雪が少しついている。昼食後山へ。牧草地を緩やかに登り、カッコウの声に誘われるように林の中に。次第に急坂となるが歩きやすい道で、林の新芽が美しい。スマレ、キクサギイチゲ、ニリンソウが足元に。オオカメノキの白い花もまぶしい。八合目からブナやダケカンバが多くなり、ササの中を登りつめて北峰に飛び出す。にわかに視界が開けて、大きな岩手山が迫り、眼下に田代平高原が。ひと休みして急な下りを鞍部まで。再び急斜面を登って南峰を目指す。ここに山荘前からも見えた残雪が。雪はやわらかくなっているが、右側



は落ち込んだ地形なので緊張して一歩ずつキックで登る。南峰の頂は広い草原で360度の展望を思う存分楽しむ。帰路は同じ道を引き返す。新芽が伸びたばかりの林が下りに従って緑の葉を伸ばして、燃えるような新緑になっていく。牧草地には風格のある大木があちこちに見られる。人に会わない静かな山旅だった。鉱泉のお風呂に入り、まきストーブのある大きな食堂で夕食。ワラビのおひたし、マスの塩焼きなど和風のお料理が数々並び、地元のお酒もいただいて皆さん幸せそう。やがてあたりが静寂

と闇に包まれる。山荘から2、3分歩くとまっ真暗闇の原の中、広い空に無数の星が。

2日目 今日も快晴。車は新緑の道を進む。民家の庭では、水仙、チューリップ、つつじなどが花盛り。サクラはほぼ終わっている。くずまき道の駅でお弁当を購入。ワラビ、コゴミ、コシアブラ、山ウド、フキ、ウルメ、タラノメなど豊富な山荘が並ぶ。来る途中、ところどころで地元の車が駐車していた。山菜取りのシーズン真っ最中。登山口は人の気配なし。林の道を抜け、広い草原に。こんもりした小山が見える。安家森（あつかつもり）だ。石がごろごろした斜面を登り、まばらな林を抜けるとすぐに山頂に。展望は360度。八甲田山、岩手山、早池峰山、そして太平洋がかすかに見える。下って放牧地の草原を少し進み、棚を出て左へ。遠別岳への道は、ダケカンバやブナの小さい木が密生する林の中をなだらかに登って行く。小さな流れがあり、ところどころに水があふれて、水たまりが出来ていて歩きにくい。キクザキイチゲの白やうす紫の花があちこちに群生している。ササが覆い被さるようなちよつと荒れた道を行き、急斜面を登ると、狭い山頂に。相変わらず存在感のある岩手山。明日行く神姫山の優美な三角形の峰、遠くの早池峰山などの山々の眺めを楽しむ。八戸の町も見下ろせる。先客が4人。地元の熟年の男達。「十和田湖で4人もクマに殺された。」「食われてしまったらしい。」「人の味を覚えたクマは恐ろしい。」「鈴をつけると寄ってくるクマもいる。」などと、クマの話で盛り上がる。往路を戻る。数人の登山者にしか会わない静かな一日。お宿のくずまき高原牧場もあまり人気がない。牧場の丘の上にある快適なコテージ。夕食はメインの洒落たレストランで牛肉、刺身、寿司、天ぷら、ウナギ、山菜などなど御馳走のオンパレード。地元の白ワインをボトル

で選んで皆で乾杯。フルーティで華やいだ



お酒だ。

3日目 今日も晴れ。朝食前にリーダーの案内で、広い牧場内を散歩。描いたばかりの可愛い子馬のスケッチにため息。一本



杉登山口には車が結構入っている。山ザクラの花の残る木の下を通過して、杉林の中を登る。ずっと林の中の登りで、階段状の急登になるが段と段との間隔はあまり無理がなく、歩きやすい。八合目あたりはダケカンバが多く、岩っぽいところも出てくる。視界が開け、突然頂上直下の岩場にぶち当たる。花崗岩の巨岩を乗り越え、乗り換え必死で登ると、そのまま山頂へ。何一つさえぎるもののない絶景である。堂々とした岩手山、ゆるやかな八幡平、存在感のある早池峰山、眼下には緑の大地や森が広がる。いつまでも見ていたい。今日のコースは登山者も多く、頂上はにぎわっている。往路

を戻る。7、8合目あたりの芽ぶきの始まったばかりの林の中では、オオカメノキの白い花が光を集めて宙をただようように揺れている。盛岡駅で車を返し、駅前の有名店で冷たいビールと名物の冷麺で楽しかった3日間を締めくくる。一人で車を運転し、バーバ達にいつも機嫌よく尽くしてください

ったリーダーにはただただ感謝。今回の山は、いずれも登山口から600mくらいの高いところにあり、3～4時間で往復できる歩きやすいところだった。山、宿、食、酒そして人と極上の旅。まさに大人の休日だった。

(松田 記)

◇1321 東京・水元公園野鳥観察 係:石田 徹

期 日 5月20(土) 晴

参加者 ◎石田 徹、松本文男、○野澤六治、小林善行、野澤瑛子 計5名 本部20名
合計25名

費 用 1,600円

コース 亀有駅 8:30/40ー水元神社 9:00/20ー水元公園 9:30/12:00

公園内は広く樹木が多く暑かったが、涼しく探鳥ができた。結果21種類を確認。ゴ

イサギ、スズメ等の幼鳥を観て野鳥も次世代に継いでいて安心した。

(石田 記)

◇1322 栃木 那須・那須岳～朝日岳～三本槍岳 係:黒田拓司

期 日 5月21日(日) 快晴

参加者 ◎黒田拓司、○井上武久、清水 博、西川雄二、渡辺 千恵子、上原貞幸、桶川和子、瀧澤恵子

費 用 約5,000円

コース 大宮 7:00＝岩槻 IC＝那須 IC＝那須岳山麓駅駐車場 9:20
ーロープウェイ山麓駅 9:40ー那須岳(茶臼岳) 10:35ー峰の茶屋跡 11:25
ー分岐 12:00ー朝日岳 12:10/40ー熊見曾根ー清水平ー北温泉分岐
ー三本槍岳 13:50ー峰の茶屋跡 15:40ー山麓駅駐車場 14:45＝大宮 20:30

新ハイ誌6月号に今回のコース案内が掲載されていること、猛暑が予想されるため水分は多めに用意することなど行き届いた連絡を前日に受けた参加者は定刻前に集合。レンタカーで那須に向かい、予定より早く山麓駅近くの駐車場に到着。山麓駅は既に高度1390m。20分毎に発着する大きなロープウェイは好天で大勢の観光客で一杯であったが高度1680mまで一気に運んでくれた。降り立つと青い空、緑の山に囲まれすっかり夏山の雰囲気ですっきりと久し振りにこの高度に達した喜びに思わず歓声をあげた。最



初のピーク茶臼岳へガレ場を慎重に登る。お鉢巡りから峰の茶屋跡に向かって下る。

日射しは強烈だが乾燥していてさほど辛くはない。硫黄臭を感じる箇所はあったが噴煙は見られない。周囲の山の山腹には白く雪渓が残りホルスタイン牛の腹を見るようだ。峰の茶屋跡から先は雪の残るトラバース気味の道や露岩の斜面が続き緊張して歩く。分岐にリュックを置き朝日岳に一登り。戻って昼食の後三本槍岳を目指す。途中の熊見曾根からは湿原越しに穏やかな山容が眺められ、ここからはもうラクかなと思ったが、アニハカランや北温泉分岐からはキツイ登り。山頂はかなり広く、さすが三つの

◇1324 上越・早春の尾瀬を歩こう 係:倉重裕一

期 日 5月26日(金)～27日(土) 快晴

参加者 ◎倉重裕一、○松岡茂夫、和田 香、品野 千草子、石黒 由美子、本島 健、浅田良一、本島 由利子、笠井正二 計9名

費 用 約20,000円(電車、タクシー、雑費)

コース 1日目 浦和 6:45＝高崎 8:16/24＝沼田 9:12/20(タクシー)

＝鳩待峠連絡所 10:45＝鳩待峠 10:50/11:30(昼食)

－テンマ沢湿原 12:30－山の鼻 13:00－牛首分岐 14:00

－ヨッピー橋 15:00－東電小屋 15:30(泊)

2日目 東電小屋 7:00－東電尾瀬橋 7:15－赤田代分岐 7:30－見晴 8:00

－竜宮十字路 9:00－牛首分岐 9:50－山の鼻 10:30－テンマ沢 11:20

－鳩待峠 12:30(昼食)＝(タクシー)＝道の駅＝JR沼田駅 15:00/16:10

＝高崎 16:56/59＝浦和 18:28

1日目 数日前、全国各地で今年の最高気温を観測した晴天続きから一変、低気圧の影響で朝から雨。シーズン到来と、はやる気持ちに文字通り水を差されての出発だった。沼田駅からタクシーで鳩待峠の駐車場へ。峠の小屋で少し早めの昼食。11時30分、小雨が残る中、山の鼻に向けて下り始める。(JR車中で雨の装備を完了して準備は万端)今年の尾瀬は雪解けが遅く、木道の半分程は片側通行や、本来の位置が確認できないような雪の上を歩かなければならず、転倒に注意し慎重に歩を進めた。霧が立ち込めた幻想的な中に小さなミズバショウを見つけると思わず「かわいい」の声が聞かれた。山の鼻から牛首分岐へ。そ

藩が接するところとあって360度の眺望は素晴らしい。往路を峰の茶屋跡まで戻りロープウェイを使わずに山麓駅へ。帰りの高速道路は事故渋滞で大宮到着はかなり遅れたが、このトラブルもやや離れた三本槍岳を外さず、三座登頂を成し遂げた仲間の一体感を高めてくれた。下山講はこうしたことを語り合っ盛り上がった。リーダーと長時間ハンドルを握ってくれたお二方に感謝申し上げます。

(西川 記)



してヨッピー橋を過ぎた頃から大粒の雨になり、黙々と東電小屋を目指す。15時30分、予定時刻通りに到着。夕食まで入浴と休憩(この時すでにビールが・・・)夕食はハンバーグをメインに地元野菜などの御膳風。

宿の方が中身を説明してくれた。(・・・私は早く食べたくてよく聞いていなかった・・・)食後は、談話室で尾瀬の自然についてのスライド上映があり、眠気と格闘しながら(?)担当者の説明を聞いて、また引き続きアルコール付きの談笑。明日の天気回復を祈って20時30分頃就寝。

2日目 昨夜から雨音が止むことなく続き、心配しながらの起床となった。小屋の前で記念撮影、7時の出発頃には雨も上がったが念のため雨具着用。出発直後はまた靄の立ち込めた雪上を進む。30分程たつとやっと日差しの気配。赤田代分岐から見晴に戻り、雲に覆われた燧ヶ岳を背に木道を歩く。薄日で少し肌寒い。目の前に雲を頂く至仏山が見えてきた。リーダーに促されて、至仏山の撮影スポットでたくさんのカメラマンをかきわけてしばしの撮影会。頂上の雲が切れてくれるのを期待していたが願いは最後まで通じない。木道に戻るとた

くさんのツアー客と思われるハイカーとすれ違う。(・・・半ズボン、ビーチサンダル?・・・最近の若者は大胆!)10時30分、山の鼻に到着、コーヒーを飲んで休憩。ここから鳩待峠まで最後の坂道を登る。シーズンを待ちわびたハイカーが数珠つなぎの状態、さらに足元も悪いためなかなか交換も進まない。ここにも、スニーカーの男女(・・・ツアー会社はちゃんと周知しているのかね・・・と皆でブツブツ)。鳩待峠には12時30分に到着、皆で無事走破をねぎらう。そして予約のタクシーで途中道の駅を経由してJR沼田駅へ。ソバ屋で食事を兼ねた下山講。しばしの談笑・・・そして、16時10分発の電車で帰途に就いた。「夏が来れば思い出す・・・」と口ずさめるような好天気ではなかったが、それもまた尾瀬の良さと再認識させられる充実感ある山行だった。

(笠井 記)

◇1325 栃木・高原山 山菜山行 係:石田 徹

期 日 5月31日(水)晴れ

参加者 ◎石田 徹、西川雄二、我妻敏久、石塚嘉子、桶川和子 計5名

費 用 3,000円

コース 塩原付近

大宮駅近くの、りそな銀行で車に乗り込む。マイカー山行です。岩槻ICから東北自動車道に乗って、西那須野ICで高速道を降りて、塩原温泉方面に車を走らせる。途中の道から見える新緑が陽に映えて輝いて見える。奥塩原温泉までの道は、秋になると紅葉が美しい。道沿いには、無料の露天風呂があちらこちらにある。石田さんから秘密の場所だから本当は教えたくないなんて言われていたので、山菜が一杯の景色を想像して胸が弾む。大宮から出発して2時間半でその場所に到着。皆、山菜取りの支度。ナイフ、鎌、軍手、大きな袋、特に我妻さんは、テレビなどでよく見る格好。

いざ出陣。探せども、探せども、ワラビもウドも何もない。1時間程で諦めて次の場所に移動しようと車迄来たが、我妻さんは中々諦めきれず探している。待っていると来て！来て！の声。秘密の場所というほどではないが、皆で少しワラビを取った。次の場所もスキー場、ここでは小さいのがポツポツと出ている。秘密の場所とは言えないくらい。鹿の糞だらけ。適当な時間に成ったので次のコシアブラが有るといふ山に入ったが、既に大きくなり過ぎて食べられる状況にはない。途中の農産物直売場で伺ったところ、ワラビが出ていないのは、鹿が食べてしまうからとのこと。ワラビは

無いけれど鹿の糞が一杯だった理由がそれだったようです。それでも、ワラビ、フキ、山椒、などを収穫してニコニコ顔で大宮に16:00位に帰り着きました。山菜はすぐ、

下処理をしないと固く成ってしまうので、下山講は無でかえりました。山菜取りは宝物探しの気分で楽しいものです。

(桶川 記)

◇1326 栃木 日光・社山 係:清水 博

期 日 6月3日(土) 晴れ、一時曇り

参加者 ◎清水 博、○黒田拓司、武田建治、和田 香、渡辺 千恵子、和田厚子、石黒由美子 計7名

費 用 約5千円 (JR 浦和～栗橋 東武栗橋～日光 日光～中禅寺湖 往復)

コース 浦和 6:05=栗橋 6:41/7:05=東武日光 8:16/8:35 =中禅寺湖温泉 9:20
-立木観音 9:40/50-狸窪 10:20-半月峠 11:35-中禅寺山 1655m11:50/12:10
(昼食) -社山 1827m14:40-立木観音 16:30-中禅寺温泉 16:55/17:27
=東武日光駅 18:13=栗橋 19:43=浦和 20:36

東武日光駅に降り立つと今作りたての空気におい。べたりと重くない。さらさらと爽快。中禅寺湖バス停で下車、イタリア大使館別邸よこから登山開始。あたりは“たぶんセミ”の大合唱。黙々とのぼり、約2時間で半月峠に到着。箱庭のように端正な景色を横目に中禅寺山頂にて昼食後、社山にむけて歩を進める。途中シロヤシオ、アカヤシオ、ヤマツツジも歓迎してくれる。すると太陽が隠れ肌寒い風が吹くがほどなく収まり頂上付近は素晴らしいパノラマ。社山は“やしろ山”ともいうとのこと。きっと後ろに控える男体山を神に見立てた“やしろ”なのかと納得する。頂上付近の少し広めの処で休憩を取るとピンクのシャクナゲの群落まで私達をお出迎え。阿世峠からの下り道は韋駄天下山。中禅寺湖バス停でバスを待つ間に無事の登頂とリーダーへの感謝をこめて乾杯！やってきたバスは



始発でないためすでに満席。全員荷物棚につかまっのイロハ坂下りで東武日光駅着。電車内では話に花が咲いての下山講。天気・景色に恵まれリーダーの計画・配慮のもと参加者の皆様、晴らしい山行をありがとうございました。

(石黒(由) 記)

◇1327 上信越・黒斑山(浅間山) 係:桶川和子

期 日 6月8日(木) 曇り

参加者 ◎桶川和子、○染谷久士、○松岡茂夫、松田昭子、堀江 としゑ、渡辺 千恵子、黒田拓司、檜木君江、神庭和子、塩崎孝壽、松本文男、上原貞幸、石井正夫、石田 徹、三木正子、大槻 千代子、土金真人、長谷川勇 (お試し)、永見奈津子

計19名

費用 4,600 円

コース 川越駅前 7:05＝横川 S A 8:20/30＝車坂峠 9:35/45

－避難シェルター 11:35/40－トミの頭 12:00～黒斑山(昼食)12:30/13:05

－蛇骨岳 13:30/35－黒斑山 14:20/35－トミの頭 14:45/50－車坂峠 15:50/16:05

＝川越駅前 19:00 (解散)

実施前日いよいよ関東甲信越に『梅雨入り』の発表があり実施日の天気不定、リーダーも、参加予定者も不安だったが、小諸地方は、午前中は晴れマークだという事で、リーダーが決行と判断した。集合場所の川越駅 JR 改札前に向かい、参加者全員が揃いバスに移動出発、川越 I.C から関越道に乗るが何か雲行きが怪しく、現地の天候も気になるが長野県に入ると快晴、日差しが強い。皆で、歓声をあげた。上信越道小諸 I.C で降り登山口の車坂峠へ向かうが、標高が上がるにつれ、段々崩れ到着時は曇りで肌寒い。リーダーの挨拶後、黒斑山へ出発するも I さんの体調が思わしくなく、避難シェルター手前で雨が降り出し各自雨具を着用し歩を進めるがペースが上がらず「このままでは黒斑山迄行けない」とリーダーの判断で避難シェルター迄行って、I さんは、TI さんと W さん 2 名をサポートとして一緒に下山する事になった。その後トミの頭を超えお昼過ぎに黒斑山に到着。



集合写真を撮り昼食、陽差しが有り温かい。数年前まで登山禁止だったアップダウンの少ない登山道を歩き蛇骨岳へ、蛇骨岳から直接車坂峠へ下山できる道は、ストップのロープが有り道は有るが人数も多いので大事を取って、黒斑山まで戻りトミの頭を巻いて中コースでほぼ下り（一部ガレ場があったが）車坂峠に戻り、午後 4 時過ぎ車坂峠を後に帰路に就いた。

(土金 記)

◇1328 鎌倉・紫陽花の寺社巡り 係:青柳茂樹

期 日 6月7日(水)曇り

参加者 ◎青柳茂樹、○西川雄二、鈴木市子、互 茂子、高原勇夫、長島静江 計6名

費用 交通費 2,704 円、拝観料 1,000 円

コース 浦和駅 6:34＝戸塚駅 7:38＝北鎌倉 7:50－明月院－浄智院－葛原岡神社

－銭洗弁財天－佐助稲荷－鎌倉大仏－長谷寺－御霊神社－極楽寺

－極楽寺駅 14:20－鎌倉駅 14:38－浦和駅 16:30 (解散)

梅雨空に映える花紫陽花で、有名な鎌倉の寺社へ紫陽花ハイキングに 6 名で参加した。折しも梅雨入りの日 6 月 7 日、浦和駅を出発し起点となる北鎌倉駅から紫陽花ハイキングのスタート。すぐに最初の見学地明月院に着いた、枯山水庭園と紫陽花寺と



して人気の寺だけあって8:30の開園前から多くの見学者が並んでいた。その後は、ハイキングで浄智寺、洗弁財天、佐助稲荷を巡る。ハイキングとはいえ、アップダウンの多い山道、転倒しないよう気を付けながら時折吹く涼風励まされ、鎌倉大仏で昼

食をとり、寺長谷寺に向かう。長谷寺の裏山の斜面に咲く紫陽花40種類以上2,500株もあるという紫陽花の美しさに思わず声をあげるのであった。最後の目的極楽寺の近くで、すてきな喫茶店に出会った
(高原 記)

◇1329 中央線 藤野・名倉村峰～高倉山 係:益田光男

期 日 6月10日(土) 晴れ

参加者 ◎益田光男、小棚木 魁、黒沢方三(お試し山行)、染谷久志、岡田純子、榎本 千代子、広川 ふじ子 計7名

費 用 2,280円(南浦和起算)

コース 南浦和 7:18=西国分寺 7:47/51=高尾 8:14/20=藤野 8:33/50
—名倉村峰(一本松山) 9:35—葛原神社 10:00—金剛山 10:45
—高倉見晴し 11:25/12:00(昼食)—高倉山 12:10—秋山川橋 12:55
—藤野 13:55/14:08=北朝霞 15:15(解散)

3日前に梅雨入り宣言、しかし予報では晴天が約束されていた。藤野は野外芸術の街のようだ。相模川に架かる弁天橋の際に、雁のような鳥2羽が飛翔している野外作品があった。ぜいたくは言えないがあまりにも天気がよく車道歩きは干からびてしまうような暑さだ。案内図に二つ目石段を登るよう記されていたが日陰を求め一つ目の遊歩道から一本松山を目指し進む。明るく開けた快適な登山道だ。1時間ぐらいで3等三角点のある一本松山(337m)だ。新ハイ川崎支部の人がいて写真を撮ってもらう。包丁岩の切れ落ちた岩峰を眺め葛原(とづらはら)神社や学校のある里山へでる。ここも芸術の道だ。数カ所野外作品がある。金剛山登山道には白い鉄製パイプの立派なガードレールが設置されていた。山頂に小さな祠もある。山行の無事を祈り参拝した。展望がよくまわりの山々も見渡せた。天神峠を過ぎ高倉見晴しで昼食。山の目の標識があるが、上から覗くと目なのか判然としないが、白い目に相当する大きな構築物が2つ見えた。高倉山(379m)にも3等三角



点が設置されていた。ルート上に見晴しが3カ所あったがこの時期、樹木が生い茂り展望は望めない。最後の見晴台には3年前の大雪や、激しい降雨の影響で市道杉芝田を通行止めにする旨の案内板があった。長い階段を降り秋山川橋を渡り滑りやすい遊歩道を慎重に通過し無事公道に出た。振り返ると「この先危険通行止め」の看板が設置されていた。北朝霞で全員参加の下山講。楽しい山行に感謝!

(小棚木 記)

◇1330 歴史の道ハイク⑭旧中山道・長久保宿～和田峠～下諏訪宿 係:倉重裕一

期 日 6月11日(日)、12(月) 快晴
 参加者 ◎倉重裕一、○松岡茂夫、和田 香、互 茂子、石黒 由美子、本島 健、
 本島 由利子、西川雄二 計 8名
 費 用 約20,000円(交通費、宿泊費他)
 コース 1日目 大宮駅=上田=長久保=上深山口=和田宿=民宿
 2日目 民宿=和田峠口=接待茶屋=和田峠=浪人塚=木落とし坂
 =諏訪神社春宮、秋宮

1日目 気象庁は梅雨に入ったと言うのに、強烈な晴れ男がいてか、朝から快晴にしてしまった。上田駅からバスで長久保宿へ、歴史資料館で行動の打ち合わせ後、中山道最古の長久保本陣等散策後、更にバスで上深山口へ、和田宿を目指す。あたりの絶景に溶け込みルンルン気分になる。沿道には藁葺き屋根のバス停や、鎌倉時代からこの辺りを支配した大井信定父子の墓、やがて和田宿入口を示す碑が建っている。先の和田小学校々庭で昼食をとり、いよいよ待望の皇女和宮が泊った本陣へ。中へ入り当時の模様をじっくり見聞した。ここは一時和田村役場として使われていたが、昭和61年に修理復元され、一般公開されている。充分堪能し、民宿からのお迎えの車で宿へ。

2日目 快晴、いよいよ中山道一の難所で知られる和田峠越え。のっけから急登でいかにも旧道らしく踏み跡も薄い、足元には二人静・九輪草が咲き、心が和む。33体観音を過ぎて、接待茶屋が現れ、湧水でのを潤しひと息いれると和田峠は近い。「あと急坂を600mで頂上だ」の声にひと汗か



いて勇躍クリア、頂上から御嶽山が見えて歓声上がる。充分堪能し下諏訪へと向かう。急坂の心細い道を暫く下ると、幕末の動乱で水戸藩が分裂し合戦した浪人塚へ出た。そこで昼食。暫く国道を歩く。右手に清掃工場等が見える。江戸から54番目の一里塚を過ぎると、間もなく諏訪大社の「木落とし坂」へ出た。7年に1度の祭りで巨大な樅の木を滑り落とす雄大な神事で、怪我人が続出すること、諏訪神社春宮・秋宮で参拝し、下諏訪駅から帰路についた。

(本島(健) 記)

◇1331 山梨 大月・石丸峠～小金沢山～湯の沢峠 係:桶川和子

期 日 6月17日(土) 晴れ
 参加者 ◎桶川和子、○染谷久士、○渡辺 千恵子、土金真人、西川雄二、中桐秀明、
 浅田良一、石黒 由美子、野田 やよい、道江伸江 計10名
 費 用 4,000円
 コース 大宮 5:27=武蔵浦和 5:37/45=北朝霞 5:52=西国分寺 6:11/23
 =高尾 6:48/7:06=甲斐大和 8:01/10(上日川行バス)=小屋平 8:46
 =石丸峠 10:10=小金沢山 11:35/12:00=牛奥の雁ヶ原摺山 12:35=黒岳 14:10=湯の沢峠 15:10=甲斐大和 16:15=高尾=西国分寺 18:00(解散)

“こもれび”への投稿先”

Mail: kenjitak@cf7.so-net.ne.jp Tel/Fax: 0280-48-4286 編集担当 武田建治

“浦和支部ホームページ”

<http://shinhaiurawa.sakura.ne.jp/> (新ハイ浦和で検索)

Mail: nakagiriati@gmail.com HP 担当 中桐秀明